

開講年次・時期	2年後期	授業回数	15回	時間数	30時間	必修・選択	選択	授業形態	講義	単位数	2単位
---------	------	------	-----	-----	------	-------	----	------	----	-----	-----

科目コード	NC220	科目名	介護福祉総論Ⅱ	担当者名	三國 美香
授業の概要	介護福祉士として必要な各科目の総合学習を行う。各領域を網羅できる学力を身につける。国家試験内容の熟知と得意・不得領域を認識する				
科目の到達目標	・介護福祉士国家試験合格基準を満たすことを目標とする ・各領域で必要な知識・技術を関連づけ理解度を上げる。				
DPの観点	⑥専門知識・技能(40%) ⑨主体性(30%) ⑩問題解決力(30%)				
授業時間外学修 (予習・復習)	自己学習を計画的に行うこと。予習・復習をそれぞれ2時間行うこと				
フィードバックの方法	小テスト、模擬試験結果を返却する				
単位認定の要件	授業内模擬試験の合格基準を満たすこと。小テスト・授業内活動等の基準を満たすことが要件となる。				
評価の方法・割合 (%)	授業内模擬試験60% 小テスト20% 授業内活動20%				
履修上の注意事項	介護福祉士国家試験受験対策科目 30分以上の遅刻は欠席とする。遅刻3回で欠席1回とする				

回数	予定	実施	テーマ・内容	観点	方法
1			ICFと介護過程について理解できる	⑥⑨⑩	コミュニケーションカード
2			OJT・OFF－JT・RO等について理解できる	⑥⑨⑩	コミュニケーションカード
3			国家試験対策(手浴)	⑥⑨⑩	コミュニケーションカード
4			専門職理解 (ケアマネジャー)	⑥⑨⑩	コミュニケーションカード
5			国家試験対策(食事)	⑥⑨⑩	コミュニケーションカード
6			介護支援の根拠理解(排泄)	⑥⑨⑩	コミュニケーションカード
7			国家試験対策(ベッド)	⑥⑨⑩	コミュニケーションカード
8			アサーション・アドミニストレーション等について理解できる	⑥⑨⑩	コミュニケーションカード
9			インフォームドコンセント等について理解できる	⑥⑨⑩	コミュニケーションカード
10			スーパービジョン等について理解できる	⑥⑨⑩	コミュニケーションカード
11			介護支援の根拠理解(身体)	⑥⑨⑩	コミュニケーションカード
12			介護支援の根拠理解(体位)	⑥⑨⑩	コミュニケーションカード
13			専門職理解 (居宅介護支援事業)	⑥⑨⑩	コミュニケーションカード
14			介護支援の根拠理解(コミュニケーション)	⑥⑨⑩	コミュニケーションカード
15			サルコペニア・フレイル等について理解できる	⑥⑨⑩	コミュニケーションカード 課題レポート
期末試験					まとめと確認

使用テキスト	新・介護福祉士養成講座1～15巻 莊村明彦 中央法規
参考文献 参考URL	各社で発行している介護福祉士模擬問題集や過去問題集も参考とする。
備考	進行状況により、授業のテーマ・内容は変更になる場合がある。

DPの観点	①聴く力②表現力③柔軟性④協調性⑤社会性⑥専門知識・技能⑦思考力⑧実践力⑨主体性⑩問題解決力
-------	--

授業の自己評価	
---------	--